



# 『令和2年度 活動報告』

(一社) 鳥取県LPガス協会

# 令和2年度 中核充填所稼働訓練実施

大規模災害発生時において、中核充填所を中心とした特定石油ガス輸入業者等の連携について検証することにより、LPガスの安定供給とより一層の防災体制の確立を図ることを目的とし、令和2年10月20日10時より、鳥取県危機管理局消防防災課、(株)エネルギーセンター鳥取、(一社)鳥取県LPガス協会を主会場として中核充填所稼働訓練が開催されました。今年は新型コロナウイルス感染症対策のため従来のような来賓者・関係者を招待せず、関係事業者のみの参加としWeb方式により開催されました。(今回の通報訓練参加事業所は9事業者)

当日は「鳥取県東部地方(鹿野・吉岡断層)で発生したマグニチュード7.3の地震により東部地区を中心に多数の被害が発生した」との想定で、通報訓練と中核充填所稼働訓練が開始されました。鳥取県LPガス協会内に災害対策本部と現地対策本部が設置され、水谷会長の「中核充填所通報訓練を開始する」旨の合図のもと訓練が開始され、終了後は各参加事業所より所感を頂くとともに、総評を鳥取県危機管理局消防防災課川上指導員より頂きました。その後、衛星携帯電話による通報訓練も実施されました。

また会場を変え、エネルギーセンター鳥取では中核充填所の稼働訓練が行われました。鳥取県LPガス協会よりLPガスの供給要請を受けた当所は、非常用LPガス発電機の運転に切り替え、50K容器とディスプレイによる配送車両へのLPガス充填が手際よく実施されました。

鳥取県下には2か所の中核充填所があり、今回は東部での開催となりました。

当初、心配されたWeb方式の通報訓練も特に大きなトラブルもなく、緊張感のある訓練となりました。



訓練を宣言される水谷会長



# 中核充填所訓練風景



## 令和2年度 LPガス販売事業者保安講習会を開催

例年開催されているこの保安講習会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、鳥取県内の3会場で密を避け分散開催となりました。保安講習会に先立って、自然災害対応保険「LPライフNEO」の紹介が東京海上日動火災保険(株)鳥取支店、渋谷支店長代理より説明がありました。昨今の自然災害は多発化、激甚化している、今後予想される自然災害に対応できる保険が発売され検討をお願いしたいと参加事業者へ内容説明と提案がなされました。また、「家電リサイクル法上の小売業者となり得るLPガス販売事業者」についての適切な運用説明を行い、各LPガス事業者へ周知を行いました。講習会と並行して各LPガス販売事業者が持ち込んだ、ガス検知器・一酸化炭素測定器の機器診断を新コスモス電機(株)と理研計器(株)の各担当者が講習時間を利用して機器診断が行われました。

当保安講習会は鳥取県指導の下に開催され、保安の確保に係る行政及び業界の施策等周知徹底を図るものです。令和2年度液化石油ガス販売事業者等保安対策指針並びに令和元年度立入状況について、講師に鳥取県危機管理局消防防災課高圧ガス保安指導員川上氏より、今年度の保安対策指針が説明されました。そのあと前年度の立入調査状況も併せて説明されました。

## 【保安講習会の概要】

- (1) 2020年度液化石油ガス販売事業者等保安対策指針の策定について、経済産業省はLPガス販売事業者等に対して、(1)法令の確実な遵守と適切な保安対策を実施 (2) 自主保安の高度化を一層推進 (3) 事故対策等保安対策を確実に実施 (4) 自然災害に備え、万全の保安対策の実施を求め、この指針が策定されました。
- (2) LPガス販売事業者等が講ずべき具体的な保安対策（要請4項目）及び重点事故防止3項目として、次に掲げる4項目をLPガス販売事業者等に対して要請されている。1. 法令遵守の徹底 2. 組織内のリスク管理の徹底及び自主保安活動の推進 3. 事故防止対策 4. 自然災害対策で特に、事故防止対策については、2019年の事故発生状況から、
  - (1) CO中毒事故の防止
  - (2) 一般消費者等に起因する事故の防止対策
  - (3) LPガス販売事業者等に起因する事故防止対策を重点的に対応することを要請されている。以下具体的な要請事項を記載します。
  1. 法令遵守の徹底
    - (1) 経営者の保安確保へ向けたコミットメント
    - (2) LPガス販売事業者等の義務の再認識
    - (3) 保安教育の確実な実施
    - (4) 販売所・営業所単位での保安確保
    - (5) 事業譲渡時の保安業務の確実な実施
    - (6) バルク貯槽等の20年検査に向けた体制整備

## 2. 組織内のリスク管理の徹底及び自主保安活動の推進

(1) 組織内のリスク管理の徹底

(2) 集中管理システムの導入等による自主保安活動の推進

## 3. 事故防止対策

(1) CO中毒事故の防止対策

①業務用厨房におけるCO中毒事故の防止対策

A. 業務用厨房の関係者に対する周知

B. 業務用換気警報器・CO警報器の設置の促進

業務用厨房の使用者や所有者に対して、業務用換気警報器・CO警報器の設置の促進を引続き継続すること。

②ボイラーにおけるCO中毒事故の防止対策

③住宅におけるCO中毒事故の防止対策

④学校、福祉施設等におけるCO中毒事故の防止対策

(2) 一般消費者等に起因する事故の防止対策

①一般消費者等に周知等による保安意識の向上

②安全な消費機器の普及促進

③誤開放防止対策の推進

④ガス警報器の設置の促進等

⑤消費設備調査の推進

⑥リコール対象品等への対応

⑦長期使用製品安全点検制度への協力

(3) LPガス販売事業者等に起因する事故の防止対策

①供給管・配管の事故防止対策

供給管・配管の工事を行う際は、締付けトルクの管理を行い、工事後は気密試験・漏洩試験を確実に実施すること。トルク管理にはトルクレンチを使用することが望ましい。またシールテープとシール剤を併用すると低トルクでもねじ込み過ぎとなる恐れがあるので注意すること。

②機器の事故防止対策

③バルク供給に係る事故防止対策

(4) その他

①質量販売に係る事故防止対策

②積雪又は除雪ミスによる事故防止対策

③LPガスタンクローリーに係る事故防止対策等

#### 4. 自然災害対策

(1) 「東日本大震災を踏まえた今後の液化石油ガス保安のあり方について」及び「LPガス災害対策マニュアル」を踏まえ、災害発生時における保安確保のための具体的な取り組みについて、着実に実行する事。また、地震・水害等による大規模災害に備え、容器転倒防止の鎖又はベルトの二重掛けの推進や新設又は取替え時等におけるガス放出防止型高圧ホース等の設置を徹底すること。

特に各自治体において発表されているハザードマップを確認・把握し、津波、河川氾濫等による浸水、水害の恐れのある地域に所在するLPガス消費者世帯においては、大規模水害によるガス容器の流出防止に備えた対策を重点的に講じること。

- (2) 上記マニュアルを一部改訂したところであり、災害発生時には同マニュアルに基づいた取り組みを着実に実施すること。
- (3) 仮設住宅における販売事業者等は、保安業務の確実な実施、ガス漏洩事故防止及びCO中毒事故防止に係る注意喚起について、特に留意して取り組むこと。
- (4) 災害発生後のガス供給の早期復旧復興に備え、予め顧客・設備情報・保安に関する情報についてクラウド等を活用するなど、情報の保全に努めること。



(3) 令和元年度の立入検査状況について

1. 立入調査実施事業所数：107件

(うち良好件数81件、指摘事項あり19件)

2. 指摘事項 (重複あり)

(1) 定期供給設備点検・消費設備調査未実施 (法第27条) . . . . . 3事業所

(2) 定期供給設備点検・消費設備調査における法第34条ただし書き適用  
の訪問記録なし (法第81条第1項、規則第131条第2項) . . . . . 1事業所

(3) 保安業務(周知)記録なし (法第81条第1項、規則第131条第2項)  
. . . . . 1事業所

(4) 貯蔵施設の維持管理 (換気口の通風障害、屋根の破損改修、  
防火戸の開閉障害、不要物品の整理、警戒票の視認障害、消火器  
の腐食劣化等)

(法第16条第1項、規則第14条第14条) . . . . . 5事業所

(5) 貯蔵施設の消火設備 (粉末消火器等A-4及びB-10を2個以上) 個数  
又は単位数不足 (法第16条第1項、規則第14条第6号、例示基準5)  
. . . . . 11事業所

(6) 販売所等の変更未届 (法第8条、第55条の4) . . . . . 2事業所

(7) 保安教育 (法第18条第1項) 記録なし . . . . . 2事業所

(8) 保安業務機器 (自記圧力計) の点検未実施又は点検周期不備 (例示  
基準29) . . . . . 6事業所

## 令和2年度保安講習会開催実績 (令和2年7月20日～29日：県内3会場)

会場名	日時	場所	出席者数	講師
西部	7月20日 13:00～15:00	米子食品会館	70名	川上講師
東部	7月28日 10:30～12:00	とりぎん文化会館	44名	〃
中部	7月29日 13:30～15:00	倉吉未来中心	45名	〃
3会場合計			159名	

## 【ガス検知器・一酸化炭素測定器機器診断結果】

(単位：台)

実施日	会場	合計台数	ガス検知器 (LPガス用)			一酸化炭素測定器 (COメーター)		
			合格	不合格	合計	合格	不合格	合計
7月20日	米子	78	49	14	63	13	2	15
7月28日	鳥取	45	31	7	38	6	1	7
7月29日	倉吉	50	36	7	43	6	1	7
合計		173	116	28	144	25	4	29

## 令和2年度 液化石油ガス関係講習・検定試験実施

今年度の教育事務所事業及び国家試験事業として下記のとおり資格講習、義務講習が開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、当初講習会は延期されましたが、密を避けるため広い会場の確保、マスク・手消毒・検温等の対策を実施しながら、予定されていた全ての講習会（丙種化学液石の講習会を除く）と検定試験を終えることが出来ました。

[資格講習]

(単位：名)

講習の種類		申込	受検者	合格者	合格率	備考
第二種販売講習		22	20	12	60.6%	1回
業務主任者の代理者講習		0				
丙種化学液石講習		未実施				
設備士第2・3講習	筆記	29	29	16	55.2%	1回
	技能	18	18	17	94.4%	2回
保安業務員講習		30	29	26	89.7%	1回
合計		99	96	71		

[義務講習]

(単位：名)

講習の種類	申込者数	講習修了者数	備考
設備士再講習	134	133	2回
業務主任者講習	30	29	1回
充てん作業再講習	22	22	1回
保安係員（LP）講習			0回
合計	186	184	

[自主講習]

(単位：名)

講習の種類	申込	受検者	合格者	合格率	備考
フレキ管講習	未実施	-	-	-	

申込者合計

285

## (4) 試験事務受託事業（国家試験事業）

- ① 実施日：令和2年11月8日(日)
- ② 実施場所：県立倉吉体育文化会館
- ③ 受験科目：高压ガス製造保安責任者、高压ガス販売主任者  
液化石油ガス設備士

種 類		願書受付数	受験者数	合格者数	合格 率
製造保安責任者		74	67	20	29.9%
販売主任者		47	45	22	48.9%
設備士	筆記	10	10	4	40.0%
	技能		4	4	100.0%
合 計		131	126	50	39.7%

# 地域保安指導事業保安講習会開催

- ▶ 経済産業省から委託を受けで実施している地域保安指導事業保安講習会は、
- ▶ 例年、県下に会場を設け開催していますが、本年度は、新型コロナウイルス感染防止の為、eラーニング方式での実施となりました。
- ▶ 受講科目は、法令指導、保安業務指導、CO中毒事故防止、LPガス災害対策の4テーマの中から受講者が選択し受講する方法です。（全科目受講可）
- ▶ 本年度の保安講習は、インターネット環境が整っていれば誰でも受講可能で、10月1日から10月31日の期間が設けられ、受講生の都合でいつでも受講できる方法で実施され、鳥取県では125名が受講しました。

講習科目	受講期間	
	開始日	終了日
①法令講習	10月1日	10月31日
②保安業務指導講習		
③CO中毒事故防止技術講習		
④LPガス災害対策講習		

# 八頭町社会福祉協議会 防災訓練に参加 ～東部支部～

開催日時 : 令和2年7月22日(水) 14時～15時  
会場 : 八頭町社会福祉協議会 福祉施設(八頭町宮谷)  
実施者 : 東部支部保安部員(櫻田部会長、小島副部会長、植田、平木、綿本、西尾、中島、武田) 事務局(大西)

災害用バルクを設置している施設において、施設内の避難訓練が実施されました。LPガス協会もこの避難訓練に参加し、施設で働いている職員を対象に、災害用バルクの設備等について講習を行いました。



- | 内 容                       |
|---------------------------|
| ①災害用バルクについて説明             |
| ②炊き出しステーションの展示・説明         |
| ③LPガス発電機と投光器の実演展示、説明      |
| ④災害用バルク資料の他保安啓発チラシ、タオルの配布 |



# 「10月10日 LPガスの日」広報活動 ～東部支部～

「LPガスの日」にあわせ、東部支部はLPガスの街頭広報活動を実施しました。当日は支部役員並びに女性従業員を中心にJA愛菜館で買い物客にチラシ等を配布し、LPガスの保安啓発、広報活動を行いました。

【PR活動】	
日時	令和2年10月12日(月) 9時30分～
場所	JA愛菜館 (鳥取市安長)
実施者	吉田支部長をはじめに役員・会員 12名
	事務局 大西

当日は、新型コロナウイルス感染症対策を十分し、買い物客を対象にLPガス保安啓発チラシとタオルのセットを200セット配布しました。



# LPガス発電機を自治体へ贈呈 ～東部支部～

●贈呈式	令和2年10月13日(火) 10時～		
●会場	八頭町役場		
●出席者	八頭町 町長	吉田 英人 氏	
	(一社)鳥取県LPガス協会 東部支部長	吉田 和男 氏	
	(一社)鳥取県LPガス協会 八頭地区会長	西尾 進 氏	
	矢崎エナジーシステム(株) 松江支店長	谷本 啓介 氏	
	協会事務局	大西	

東部支部は「10月10日LPガスの日」にあわせて、東部管内の自治体へLPガス発電機を贈呈しています。本年度は、八頭町へ贈呈しました。

吉田支部長より目録を受け取った吉田町長は「今年も各地で災害が発生しました。発電機は災害時に大変有効で助かります。町民に使用してもらえるよう避難所となる公民館に設置します。」とお礼を述べました。贈呈式後、矢崎エナジーシステム(株)谷本支店長が使用説明を行いました。



緊急通報出動訓練 ～東部支部(八頭地区会・気高地区会)～

緊急(災害)等発生時に、すばやく対応できるよう防災工具等が整っているか点検作業を実施

しました。

また、災害時対応に使用してもらうため、各自治体の防災マップを配布しました。

【気高地区会】

- |      |                |           |
|------|----------------|-----------|
| ●実施日 | : 令和2年11月5日(木) | 於: 道の駅西いな |
|      | : 11～12時       | ば気楽里      |
|      | : 気高地区会員 3名    |           |
| ●出席者 | : 事務局 大西       |           |



## 業務用厨房施設保安講習会 ～東部支部(鳥取岩美地区会)～

保安講習をする谷本支店長



- 実施日 : 令和3年3月5日(金) 13時30分～14時30分
- 会場 : とりぎん文化会館 第2会議室  
LPG鳥取岩美地区会 会員33名 ・ 事務局
- 出席数 : 大西、有田  
谷本 啓介 氏 (矢崎エナジーシステム(株)松江支店)
- 講師 : 店長)

鳥取岩美地区会では福島県郡山市での業務用施設の爆発事故の発生を受けて業務用厨房施設に係る保安講習会を開催しました。

業務用厨房施設に係る保安講習会を開催しました。当日はコロナ感染予防をしっかりとした上で、矢崎エナジーシステム(株)の谷本支店長を講師にお迎えし保安講習会を行いました。

また、災害時対応に使用してもらうため、各自治体の防災マップを配布しました。

## 中部支部 3地区会 緊急通報出動訓練実施

- 倉吉地区会 令和2年10月6日(火)9:00スタート  
全18事業所参加 出動場所:天神川河川敷
- 東東伯地区会 平成2年10月23日(金)11:00スタート  
全3事業所参加 出動場所:ハワイアロホール駐車場
- 西東伯地区会 令和2年11月 4日(水)11:00スタート  
全8事業所参加 出動場所:石見会館駐車場

3地区会とも例年通り事故を想定し、緊急出動体制の系統図に基づき緊急時にスムーズに対応出来るよう緊急通報出動訓練を実施しました。通報を受けた会員はそれぞれの地区で指定された場所に集合し、ガス検知器・消火器・防災工具・ヘルメット・腕章・車両表・イエローカードを持参し整備されているか確認作業を行い、通報から出動に要した時間や工具等の点検も併せて緊急時に慌てないように備えました。



西東伯地区会メンバー



保安部員による工具点検

# 中部支部 LPガスの日PR活動 街頭でチラシ配布

●実施日場所 令和2年10月10日(土) 於:味そうパープル店前  
(倉吉市)

●配布物 300セット

今年で16年目となる「LPガスの日(10月10日)活動」、中部支部役員が中心となり、安全委員会補助金で作成したパンフレットと保安PRタオルを店舗駐車場で配布しました。

パンフレットでは「地震が起きた場合は・・・」「災害に強いLPガス」「安全装置のついたS iセンサーコンロ」「LPガスを安全・安心にお使いいただくために」など、配布したLPガスの優位性についてもPRを行いました。

併せて、各地で災害が発生してい事を踏まえ、地震発生時の対応について重点的に周知を行いました。



中部支部役員でLPガスPRに努めました。

# 中部支部 LPガスの日PR活動 衣類乾燥機贈呈

中部支部では「LPガスの日」イベントとして、メーター回収事業の収益金を利用し今年  
は2ヶ所の団体へ衣類乾燥機8kgを各1台ずつ贈呈しました。

①贈呈式：令和2年10月13日（火） 贈呈先：琴浦町社会福祉協議会

出席者：矢田支部長、東伯ガス産業 種子社長、亀田部長、事務局森田

②贈呈式：令和2年10月14日（水） 贈呈先：倉吉幼稚園

出席者：矢田支部長、トンボプロパンガス 水谷社長、泉社員、事務局森田



琴浦町社会協議会へ目録贈呈



倉吉幼稚園へ贈呈



## LPガス衣類乾燥機の寄贈とLPガスの日のPR ～西部支部～

西部支部ではメーター回収金予算を活用して、リンナイLPガス衣類乾燥機（乾太くん）3台の寄贈をし、下記のとおり贈呈式を行いました。寄贈先の選定については、会員に候補先を募集し、7カ所の応募があり抽選により3カ所が決定しました。同時に寄贈先の職員に対して、保安啓発パンフレット5種類とタオル・ポケットティッシュを120セット配布しLPガスの日のPRを行いました。

それぞれの施設では梅雨の時期と冬場には洗濯物を職員室等に干したりしていたので、これからはガス乾燥機を使って洗濯ものが早く乾くので大変助かります。などと喜ばれ、園児らによる合唱のプレゼントや感謝状を頂戴しました。

この様子は日本海新聞に掲載されてLPガスの良いPRとなりました。



1. 日時：令和2年10月8日（木）10時～  
寄贈先：米子市立あがた保育園（米子市福万363-4）  
内容：LPガス衣類乾燥機 1台 寄贈  
職員18名・園児66名  
贈呈式参加者：支部長 雑賀 隆  
大陽日酸エネルギー(株) 住本、LPガス協会 加賀
2. 日時：令和2年10月12日（月）15時～  
寄贈先：サービス孫の手別館 ふれあい広場（米子市石井693-2）  
内容：LPガス衣類乾燥機 1台 寄贈  
職員17名・利用者88名  
贈呈式参加者：副支部長 内藤朝雄  
広島ガスエナジー(株)米子 吉田、LPガス協会 加賀
3. 日時：令和2年10月19日（月）10時30分～  
寄贈先：学校法人かいけ幼稚園 かいけ心正こども園（米子市新開4-14-11）  
内容：LPガス衣類乾燥機 1台 寄贈  
職員85名・園児315名  
贈呈式参加者：副支部長 杉原 修  
山陰酸素工業(株)米子 作野・宇山、LPガス協会 加賀



## 衣類乾燥機の日録寄贈式

## 液化石油ガス漏れ時緊急出動連絡訓練の実施 ～西部支部～

- 日時：令和2年10月16日(金) 13:30～ 米子・境港エリア
- 日時：令和2年10月21日(水) 13:30～ 西伯・日野エリア
- 実施者：液化石油ガス漏れ時緊急出動体制

(2020.10.1～2022.9.30)

登録要員 防災事業所 9事業所 43名

出動事業所21事業所 58名

西部支部ではLPガス消費先において、LPガスによる災害が発生し、又は恐れがある場合に、その被害の未然防止上必要があるとして、消防署、警察、県市町村等から出動要請があった時に、速やかに緊急時の対応が出来るように連絡体制、応援資材、機器の整備を行い連絡訓練を実施しました。

支部内9ブロック（箇所）においてガス漏洩災害を想定して、消防局（西部支部）からの緊急出動要請を受けて防災事業所・出動事業所の連携で災害現場へ出動(仮定)し、その訓練記録を支部へ報告して訓練終了としました。

常日頃から出動体制を整えておいて、有事の際には皆様のご協力を宜しくお願いいたします。



防災工具一式

## 業務用厨房施設ガス警報器及びガスメーターとの連動遮断設置促進運動

～西部支部 境港地区会～

境港地区会では、令和2年7月に発生した福島県郡山市の飲食店での爆発事故を受けて、業務用厨房施設ガス警報器及びガスメーターとの連動遮断徹底について、最大限の取り組みを求められているため、境港地区会員が一丸となり3ヶ月の強化月間を設けて再発防止にむけ業務用施設、一般住宅、共同住宅への促進運動を別表のとおり実施しました。

- 実施期間：令和2年11月～令和3年2月
- 実施事業所：境港地区会18会員
- 推進結果

区分		種類（戸数）		
		ガス警報器	ガス警報器とメーターの連動遮断	
業務用施設	17	1		16
一般住宅	5	1		4
共同住宅	4	4		0
計	26	6		20

## 西部支部 災害対応情報伝達訓練の実施

- 日時： 令和3年2月18日（木）10時00分 現地対策本部設置
- 目的： この訓練は、自然災害（地震、洪水、大雪など）による被害の発生、又はその恐れがある場合に、災害時における適切かつ迅速な行動をとり、会員相互の緊急連絡体制を確立し、会員一丸となってLPガスの保安確保と安定供給に努め、公共の信頼に応えることを目的とする。
- 訓練内容： 西部管内での災害発生を想定し、緊急連絡系統図に基づき以下の内容を電話連絡で伝達する訓練を行いました。

本日、午前10時、西部地区で震度6弱の地震が発生しました。  
LPガス関係被害状況報告書をLPガス協会へFAXしてください。

## 各ブロックの状況：

発信開始時刻 10時00分

最終受信時刻 10時36分

	発信時刻	地区会長	最終受信時刻	ブロック長	以下事業所数
	10:01	米子	10:18	山陰酸素工業米子	7
		(山陰酸素米子)	10:31	鳥取西部JAサービス	6
			10:17	太陽日酸エネルギー	6
現地	10:02	境港	10:31	堀田石油	7
		(里岩商店)	10:20	里岩商店	7
対策本部	10:03	西伯	10:15	戸田商店	3
		(田中礼二商店)	10:14	協同プロパン	4
	10:05	日野	10:14	電水	2
		(篠原商店)	10:17	雲越商店	4
計		4		9	46



## 「災害発生時の応援要員と緊急用物資」取りまとめ終了

平成13年鳥取県と当協会とは、県内において自然災害等が発生した場合、緊急用LPガスの調達について「災害協定」を締結しております。

これを受けて毎年12月に各事業所様より緊急時に備え、有資格者数・復旧用機材・緊急用物資の調査を実施しています。災害時により県・市町村からの要請があった場合に備え、ご協力の程お願いいたします。

# (応援要員と緊急物資)

応援要員人数		配管工事業務	設備士資格者	252名	
		点検・調査業務	※保安業務資格者	133名	
復旧用機材					
ガス漏れ検知器		175台	発電機（ガソリン・LPG）	49台	
自記圧力計		176台	ネジ切り機（電動）	110台	
ボーリングバー		104台	ネジ切り機（手動）	22セット	
緊急用物資（*炊出し用・避難所等仮設設備での使用を目的として拠出できるもので中古・新品を問わず）					
容器	5kg、8kg	502本	LPガス燃焼機器	テーブルコンロ（1口）	91台
	10kg	458本		テーブルコンロ（2口）	100台
	20kg、30kg	381本		鋳物コンロ（2重）	292台
	50kg	229本		鋳物コンロ（3重）	96台
調整器	単段式	406個		炊飯器	81台
	自動切替式	329個		ストーブ	58台
ガス栓	1口	504個		ファンヒーター	137台
	2口	459個		湯沸器	41台
ホース	高圧ホース	260本		給湯器	143台
	低圧ホース	306本		風呂がま	5台
	ゴムホース	2769m	カセットコンロ	116台	
その他	石油ストーブ	0台	〃 ボンベ	535本	